

Duo Mobile

[デュオ・ノービレコンサート]

ウィーン国立芸術大学音楽学部コンサートコース学生による室内楽演奏会

チェロ Cello: Michael Michitaro Luginbühl

ミハエル・美知太郎・ルーギンビュール

ピアノ Piano: Ioan Dragos Dimitriu

ヨアン・ドラゴッシュ・デイミトリユ

2015年

2月9日月 13:00 Open
13:30 Start

会場: [福岡市社会医療法人喜悦会 那珂川病院]
〒811-1345 福岡市南区向新町 2-17-17

主催: 福岡市社会医療法人喜悦会 那珂川病院
後援: スイス大使館 / ルーマニア大使館

Photo by Felix Abrudan

* Program

* エドワード・エルガー (1857-1934)
チェロとピアノのための「愛の挨拶」作品2

* フリッツ・クライスラー (1875-1962)
「愛の喜び」
「美しきロスマリン」

* パブロ・カザルス (1876-1973)
「鳥の歌」

* フランツ・シューベルト (1797-1828)
「ロマンス」


* フレデリック・ショパン (1810-1849)
ピアノとチェロのための室内楽作品3 ハ長調
「序曲と華麗なるポロネーズ」

* フランツ・シューベルト (1797-1828)
「アヴェ・マリア」作品52-6

* ピオートル・イリイチ・チャイコフスキー (1840-1893)
「感傷的なワルツ」作品51-6

* ガブリエル・フォーレ (1845-1924)
「夢のあとに」作品7の1

* ヨハン・シュトラウス (1825-1899)
ワルツとピチカートポルカ

 Schweizerische Eidgenossenschaft
Confédération suisse
Confederazione Svizzera
Confederaziun svizra

Embassy of Switzerland in Japan
スイス大使館

Duo Nobile

Cello: Michael Michitaro Luginbühl Piano: Ioan Dragos Dimitriu

ウィーン国立芸術大学音楽学部コンサートコース学生による室内楽演奏会

ウィーンで出会った
ふたりの新星。
フレッシュでありながら
重厚で豊かな調べを
ご堪能ください。

チェロ Cello: Michael Michitaro Luginbühl ミハエル・美知太郎ルーギンビュール

1988年スイス、バーデンに生まれる。幼少4才からチューリヒ歌劇場オーケストラのチェリスト、クリストフ・モア氏のもとで四年間のチェロ指導を受ける。その後ナディア・クラ氏、2005年から2008年までパーゼル音楽学校にてカスパー・ツヴィッキー氏に師事。2008年から2010年までルツェルン音楽大学でブラハ・ガールネリトリオのマレク・イェリエ氏の指導を受ける。以後ウィーン国立芸術大学音楽学部のヴォルフガング・アイヒンガー教授のもとでコンサート科を専攻、また、音楽マネジメントおよび室内楽をヨハネス・マイセル教授（ウィーン・アルティス・カルテット）、ペーター・シュマイヤー教授（ウィーン・アルティス・カルテット）、テレサ・レオポルド教授（米国）のもとで学ぶ。

数々の国内及び国際コンクールに入賞。2005年アールガウ州音楽コンクール一位、若手チェリストのためのスイスコンクール（エッセン・リヒテンシュタイン）にて第一位入賞。国際コンクールでの入賞は、2012年ティヒラー・コンクール（ウィーン）、2013年ピエトロ・アルジェント国際コンクール（イタリア）、カール・ミハエル・ツィラー財団奨学生。このほか、レスリー・バルナス、ワルター・シュルツ（ウィーン交響楽団）、ロベルト・ナジ（ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団）、マイクロ・シェーベレニなど数々の著名なチェリストのもとでマイスターコースを受講。

2012年4月、ウィーン交響楽団のバロックアンサンブルとシェヴァルツヴァルトでのフィオーリ・ムジカ・トリベルク音楽祭にてCD録音。2014年4月、アンドレイ・スタンチウ（ヴァイオリン）、ヨアン・ドラゴッシュ・ディミトリウ（ピアノ）とともにルーマニアのポトシャニ・フィルハーモニー管弦楽団とベートーヴェン三重協奏曲のコンサートを行う。

ピアノ Piano: Ioan Dragos Dimitriu ヨアン・ドラゴッシュ・ディミトリウ

1991年ルーマニア、ブラショフに生まれる。6才よりピアノをはじめ、2002年から2010年までコリナ・イバネスク氏に師事。その後ウィーン国立芸術大学音楽学部のマーティン・ヒューズ氏のもとでコンサート科を専攻。

ブラショフ時代より様々な国際コンクールにて入賞。特筆すべきはポルトガルにてフندان国際コンクール一位。またこのコンクールではポルトガル音楽解釈賞を併せて受賞。2010年ブカレストでの国際コンテスト、ユーロビジョン・ヤング・ミュージシャンズにてファイナリスト。

2013年イタリアでのピエトロ・アルジェント国際コンクールにて第一位。同年数々のソロコンサートを行い、ベートーヴェンピアノ協奏曲第五番をドイツベルリン交響楽団と共演。その他多数の高名な国際オーケストラとベートーヴェンピアノ協奏曲第3番、サン＝サーンスのピアノ協奏曲第2番、フレデリック・ショパンのピアノ協奏曲第1番を、アンドレイ・スタンチウ（ヴァイオリン）、ミハエル・美知太郎・ルーギンビュール（チェロ）とともにベートーヴェンの三重協奏曲を演奏。

過去様々なマイスターコースを修了。ザルツブルクのモーツァルトウムにてフランツ・ウィバウト氏とパーヴェル・ギリロフ氏に三度師事。スイス、シオンのティボール・ヴァルガ音楽学校でアブデル・ラーマン・エル＝バシャ氏の指導を受ける。2012年から2013年にかけてウィーン国立芸術大学音楽学部での優秀な学生に贈られる奨学金を受ける。